



ペテロの手紙第一の構造

1章～2章

1ペテロの構造 2014.2.9

1 + 2 + 2 + 1

a	b	b	a
---	---	---	---

b1b2	b1b2
a b	a b

A 1:3-9 信仰. 試練.	あわれみ. 父. 父	朽 A
B	13-17 試練 聖霊 (聖)	10-12 理由 キリスト 預言. + あわれみ 栄光 (聖) B
B	22-2:3 試練 ことば (主)	18-21 理由 キリスト 預言. 朽 A + あわれみ 栄光
A 2:4-10 石. 信仰. (ことば)	あわれみ 父.	聖 (聖) B

第1ペテロ1章から2章、最初の段落を分析しました。父なる神の予知に従いという導入の文章の最初のポイントです。選ばれた理由です。父なる神の予知に従ってということが1章3節から2章10節までの中で4つの段落で言われています。

最初の3節から9節と2章4節から10節。ここでは、新しく生まれること、選ばれることと信じること、この2つが書かれています。

神のあわれみのゆえに新しく生まれました。ですから、信仰の戦いをただしく戦ってくださいという最初の段落と、行ける石、捨てられた石ですけれども、この選ばれた尊い生ける石に信頼しなさい。そうするなら、神の聖なる民とされますという最後の段落。神様は憐れんでくださるということに対する応答が、私たちは信じるという応答になっています。信じるならば神の民とされる。神様が父となり私たちは子となるというのが最初と4番目の段落です。

1ペテロ2章の構造 2014.2.9

1 + 2 + 2 + 1

a b b a

b1b2 b1b2
a b ab

1:3-9 信仰. 試練. ● あわれみ. 父. ●	10-12 理由 キリスト 預言. + あわれみ 栄光	聖 (聖) B
13-17 世に 聖子 (聖) ●	18-21 理由 キリスト 預言. + あわれみ 栄光	朽 A
2:4-10 石. 信仰. (ことば)	あわれみ 父. ●	聖 (聖) B

その中で、信じる者が救われる、あわれまれるということはどうしてなのかということが、2番目と3番目の段落で、それは神様があらかじめ予言してくださっていた、あらかじめ予定されていたことであるということが、1章10節から17節と、1章18節から2章3節までで語られています。

1章10節から12節には、キリストの苦難とそののちの栄光について、預言者たちが語りましたし、熱心に調べましたということが書かれています。1章18節から21節のところにも世の始まる前からそれは知られていました。キリストの血とよみがえりについては、世の始まる前から知られていて、その神のことばは決してすたれることはありませんという真理のみことばであるということが3番目の段落で言われます。

その予知、父なる神様の予知に従って、1章13節から17節のところで、聖なる者にふさわしい歩みをしなさい、聖なる歩みをしなさい。父の子どもとしてふさわしい歩みをしなさいということと、2章1節から3節で、悪を捨てて善を行いなさいというただしい歩みをしなさいということが平行しています。父なる神の予知に従って聖なる歩みをしなさい。父に救われることが決まっていたその約束の救いが来たのだからただしい歩みをしなさいということが、2番目と3番目の段落で言われているところです。

神様に選ばれた、予言されていたみことばの通りにあわれんでくださる神様に信頼する者が新しく生まれたというのがこの最初の段落です。